

環境学委員会環境思想・環境教育分科会小委員会設置について

分科会等名：環境教育における体験の再検討小委員会

1	所属委員会名	環境学委員会
2	委員の構成	10名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	<p>体験を伴う環境教育の意義の再検討</p> <p>近年のコロナ禍での活動制約に伴って、教育活動や環境学をめぐる様々な課題が生じている。活動の制限は、オンライン化などの新たな体験や交流の可能性を広げる一方で、自然環境や人との関わりの制約は、心身への影響だけでなく、持続可能な社会づくりにも影響があると考えられる。</p> <p>自然環境や地域、人との関わりが重要となる環境教育において、改めて、地域・環境の視点での体験の意義を踏まえつつ、SDGsに貢献する環境教育の意義を見直す必要がある。</p> <p>本小委員会では、多様な学問領域の視点から、学校教育や地域における体験の意義を踏まえて、環境教育の今日的な意味について議論を行う。</p> <p>なお、検討にあたっては、「環境教育の統合的推進に向けて」（平成28年11月）及び関連する提言等を踏まえていきたい。</p>
4	審議事項	<p>1. 環境教育における多様な視点から、体験との関わりについての情報把握、分析</p> <p>2. SDGsを環境教育に生かす方策と課題に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和4年3月24日～令和5年9月30日
6	備考	※新規設置